

図1 ブロッコリー根こぶ病の多発要因 (斜め網掛けが多発要因、()内数値は該当圃場数を示す。)

表1 ブロッコリー根こぶ病に対する薬剤土壌混和、おとり作物の作付け、抵抗性品種の利用の組合せ効果

試験区	2018年		2019年		2020年	
	ブロッコリー発病度	薬剤土壌混和 ¹⁾ 処理前菌密度 (個/g)	おとり作物の作付け 種類「品種名」	作付け後菌密度(個/g)	ブロッコリー発病度 感受性品種「スターラウンド」	抵抗性品種「K8-123」
①			緑肥用大根「コブ減り大根」	39,000	37.5(25) ²⁾	20.8(58)
②	71.0	133,000	野生種えん麦「ハイオツ」	62,000	66.7(-)	54.0(-)
③			裸地	53,000	50.0	37.5(25)

注1) 裸地も含めアミフル70M粉剤30kg/10aを処理した。

注2) 2020年の()内の各値は感受性品種での裸地区の値50.0に対する防除価を示す。

注3) 2020年の< >内の各値は2018年の発病度の値71.0に対し、防除価に相当する減少率を示す。

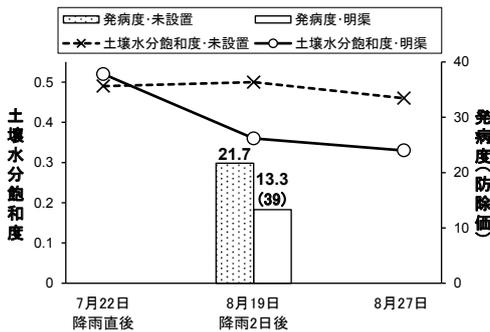
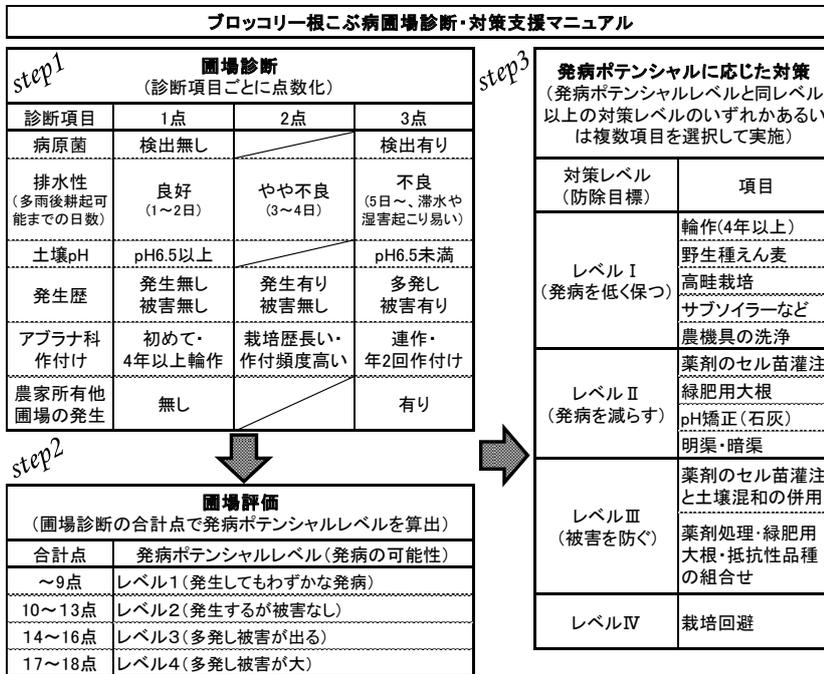


図2 明渠設置による排水性改善とブロッコリー根こぶ病発病抑制効果



注1) 網掛けはマニュアルを活用したが防除目標通りの十分な効果が得られず、マニュアルが適合しなかったことを示す。

圃場診断・対策支援マニュアル活用時の適合結果

圃場診断	戸数	対策実施後の発病状況 ¹⁾ (発病度)				マニュアル適合率 (%)
		発病無し (0)	発病少 (~5)	被害無し (~30)	被害有り (30~)	
レベル1	46	40	5	1	0	98
レベル2	76	52	20	4	0	95
レベル3	7	2	1	3	1	86
合計	129	94	26	8	1	95

図3 ブロッコリー根こぶ病圃場診断・対策支援マニュアルと活用時の適合結果 (2019~2021年調査)

詳しい内容については、次にお問い合わせください。
道総研中央農業試験場 病害虫グループ
電話 (0123) 89-2001 E-mail: central-agri@hro.or.jp